（様式１）小学校

記　入　例

個別の教育支援計画

「個別の教育支援計画」

児童一人一人の実態を踏まえ、乳幼児期から学校卒業後までを一貫して的確な教育的支援を行うと共に、福祉、医療、心理、労働等の関係機関との密接な連携、協力に基づいた支援を行うための計画です。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 宮　崎　　花　子 |

〈確認欄〉個別の教育支援計画の内容について確認しました。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １年生 | ２年生 | ３年生 | ４年生 | ５年生 | ６年生 |
| 平成２４年○月　△日 | 平成２５年○月　△日 | 平成　　年　　月 　　日 | 平成　　年　　月 　　日 | 平成　　年　　月 　　日 | 平成　　年　　月 　　日 |
| 保護者印 |  |  |  |  |  |  |
| 学級担任印 |  |  |  |  |  |  |
| 校長印 |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | みやざき　　はなこ | 性別 | 女 | 生年月日 | 平成○○年　○月○○日 |
| 宮崎　花子 |
| 学校名　　　○○○立○○小学校　 | 学年 | 知・自通常 | 記入者 | 記入日 | 保護者氏名 | 宮崎　太郎 |
| １年 | 知的 | ○○　○○ | H24.○.△ | 住　所 | 宮崎市○○　△丁目○－△ |
| ２年 | 知的 | ○○　○○ | H25.○.△ |
| ３年 |  |  |  |
| ４年 |  |  |  | 連絡先 | ○○○○－○○－○○○○（自宅）○○○－○○○○－○○○○（携帯） |
| ５年 |  |  |  | 家族構成（兄弟姉妹の生年月） | 父、母、本人、妹（H○○.○） |
| ６年 |  |  |  |
| 児童の状況 | 難聴（H18.○　○○大学医学部）てんかん、外斜視（H21.○　○○大学医学部）中度～軽度の知的障がい（H22.○　市総合発達支援センター） |
| 服薬 | 〔　　・　無　〕薬名○○○○（H21.5～　　） | 発作 | 〔　　・　無　〕３ヵ月に１回程度、ふらつくような発作を起こす。 |
| 取得している手帳 | 療育手帳〔　　・　無　〕A　　B-1　　　　　　　 （認定日H23.○.○　）（更新日H　.　.　　）身体障害者手帳〔　有　・　　〕　　種　　　級　　（認定日H　.　.　　）精神障害者保健福祉手帳〔　有　・　　〕　　　　　（認定日H　.　.　　） |
| 諸検査の状況 | 検査名 | 実施日 | 検査者 | 結果 |
| 聴力検査 | H18.○.△ | ○○大学医学部 | 裸耳～左：67dB、右：22dB |
| 田中ビネーⅤ | H23.○.△ | 市総合発達支援センター | IQ：52（CA：5歳11ヵ月、MA：3歳3ヵ月） |
| WISC-Ⅲ | H24.○.△ | ○○小学校 | 全検査IQ：57言語性IQ：58、動作性IQ：65 |
|  |  |  |  |
| 生育歴・療育歴保育歴・教育歴 | H18.○　　○○大学医学部にて耳の検査を受ける。H21.○　　○○大学医学部にて脳波の検査を受ける。H21.○～H24.○　○○保育園に通園H22.○　　宮崎保健センターの「すこやか相談」を受ける。H22.○　　市総合発達支援センターにて目、耳、言葉の療育を受け始める。H23.○　　明星視覚支援学校へ来訪相談をする。H24.○　　○○○立○○小学校へ入学する。 |

個別の教育支援計画【　小学校　】

（様式１－１）

児童の実態　　　（　○＝学校・園、◇＝家庭・地域　）

個別の教育支援計画【　小学校　】

（様式１－２）

氏名　　　宮崎　花子

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学習面 | 生活・行動面 | 対人関係面 | その他・配慮事項 |
| 幼児期 | ○　語いが少なく、相手の言っていることが理解できないことがあるため、具体物を見せながら短い文章で話すなどの配慮を行った。○◇１～１０までの具体物を数えることができる。○　お絵かきや絵本の読み聞かせが好きである。 | ○◇自分のことは自分でしようとする気持ちが強い。○　偏食があり、特に野菜が苦手であるため、家庭と連携してゆで野菜を小さく刻み、少しずつ食べる練習をした。○◇　体が小さいため、疲れやすい傾向がある。○　集団の中での指示が理解できないことがあるが、周りを見ながら行動することができる。 | ○◇人見知りがあるが、慣れると誰とでも仲良く遊ぶ。○　緊張すると表情が硬くなり、言葉を発しなくなることがある。特に初めて会う大人の男性に対して顕著になるため、前もって写真を見せ、緊張を和らげるようにした。 | ○◇てんかんがあるため、特に高さのある遊具で遊んだり、水遊びをしたりする際には、注意して見守る必要がある。 |
| １年生 | ○　学習に対する意欲が高く、どのような活動にも積極的に取り組む。○　独自の筆順であるが、文字を書くことを好んでいる。○　数の基数性の概念がまだ十分に形成されておらず、これから数量感覚を身に付けていく段階である。 | ○◇衣服の着脱、排泄、持ち物の管理等は自立している。○　疲れやすく、１時間の授業を継続して受けられないことがある。○◇咀嚼力が弱いため、歯ごたえのある野菜類が苦手である。○　場面や状況に関わらず、相手に話しかけたり、話し続けたりすることがある。 | ○　誰とでも仲良く関わることができる。○　疲れたり緊張したりすると、言葉を発しなくなる時があるが、行動や態度で意思を示す。 | ○◇てんかんがあるため、幼児期と同様の見守りが必要である。○　左耳が聞こえにくいため、座席の位置や話し掛ける方向に配慮する。 |
| ２年生 | ○　１年生で習う漢字の６割程度を書くことができる。○　文は、拾い読みの段階であり、内容の読み取りが難しい。○　繰り上がりや繰り上がりのない一桁同士の足し算は、暗算で解ける。○◇時計は「何時」まで読むことができる。 | ○　少しずつ体力が向上し、疲れやすい傾向がなくなりつつある。○◇食べ物を咀嚼するのに時間を要するものの、野菜を嫌う傾向がなくなってきた。○　交流学級や学年の活動や学校全体の大きい行事でも、落ち着いて参加することができる。 | ○　友達のお世話が好きで、声を掛ける場面が多く見られるが、相手によって時々強い口調になることがある。○　疲れたり緊張したりしていても、ほとんど言葉で意思を表すようになってきた。 | ○◇てんかんは見られなくなったが、見守りは継続して行う必要がある。○　左耳が聞こえにくいため、座席の位置や話し掛ける方向に配慮する。 |
| ３年生 |  |  |  |  |
| ４年生 |  |  |  |  |
| ５年生 |  |  |  |  |
| ６年生 |  |  |  |  |

個別の教育支援計画【　小学校　】

（様式１－３）

氏名　　　宮崎　花子

（　学年目標　○＝学校、◇＝家庭・地域　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 将来の生活についての願い | 本　人 | ・　ピザ屋さんになりたい。（H24.4～H24.9）・　ケーキ屋さんになりたい。（H24.10～　） |
| 保護者 | ・　楽しく学校生活を送り、高校を卒業して、得意なことを生かせる仕事について欲しい。（H24.4～　） |
| 中・長期目標（小学校卒業まで） | 学習 | ・　読み書き計算等の基礎的な学力を身に付ける。（H24. 4～） |
| 生活・行動 | ・　何でもよく食べ、元気に活動できる体力を身に付ける。（H24. 4～）・　場面や状況に応じて、適切な行動を取ることができる。（H24.4～） |
| 対人 | ・　相手の気持を考えながら人と接し、誰とでも円滑にコミュニケーションを図る態度と技能を身に付ける。（H25.4～） |
| 学年目標 | １年生 | 学習 | ○　正しい筆順で文字を書くことができる。○　多少、長短などの比較が、的確に判断できる程度の数量感覚を身に付ける。 |
| 生活・行動 | ○◇偏食を減らし、一日を通して元気に活動できる体力を身に付ける。○　場面や状況を考え、自分が取るべき行動に気付くことができる。 |
| 対人 |  |
| ２年生 | 学習 | ○　説明文「くちばし」程度の簡単な文章を読み、教師の質問に答えることができる。○　繰り上がりや繰り下がりのある足し算や引き算の計算ができる。 |
| 生活・行動 | ○◇偏食をなくし、一週間を通して元気に活動できる体力を身に付ける。 |
| 対人 | ○　誰に対しても、優しい言葉で話し掛けることができる。 |
| ３年生 | 学習 |  |
| 生活・行動 |  |
| 対人 |  |
| ４年生 | 学習 |  |
| 生活・行動 |  |
| 対人 |  |
| ５年生 | 学習 |  |
| 生活・行動 |  |
| 対人 |  |
| ６年生 | 学習 |  |
| 生活・行動 |  |
| 対人 |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 現在の支援体制 | 関係機関名 | 担当者・連絡先 | 支援内容 | 引継事項 |
| ○○大学医学部小児科（Ｈ18.○～　　　） | ○○医師0000-00-0000 | ・　２ヵ月に１回通院。脳波と採血の検査を行い、抗てんかん薬を処方する。 |  |
| 市総合発達支援センター（Ｈ22.○～　　　） | ST　○○さん0000-00-0000 | ・　３ヵ月に１回通院。目、耳、言葉の訓練を行う。 |  |
| 明星視覚支援学校（H23.○～H24.○） | 来訪相談担当○○教諭0000-00-0000 | ・　１ヵ月に１回来訪。行動観察による見え方の把握を行い、学校での支援等のアドバイスをする。 |  |
| ○○○サポートセンター　　　　　　（Ｈ24.○～　　　） | 福祉コーディネーター　○○さん0000-00-0000 | ・　事業所利用のためのアドバイスをし、サービス等利用計画を作成する。 |  |
| ヘルパーステーション○○（Ｈ24.○～　　　） | 主任　○○さん0000-00-0000 | ・　放課後預かり、保護者が帰宅するまでの支援を行う。 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

個別の教育支援計画【　小学校　】

（様式１－４）

氏名　　　宮崎　花子

（様式２）

記　入　例

個別の指導計画

「個別の指導計画」

長期にわたる支援の方針等を示している「個別の教育支援計画」を、指導のために具現化した計画です。学年目標や短期目標を設定し、それぞれの目標達成に向けて、指導・支援の手立て等を児童生徒一人一人の実情に応じて、具体的に計画していきます。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 宮　崎　　花　子 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | みやざき　はなこ | 性別 | 女 | 作成日 | 平成２５年　○月　△日 |
| 宮崎　花子 |
| 学校名 | ○○立○○小学校 | 学年 | ２年 | 担任名 | ○○　○○ |
| 学年目標 | 学習 | ○　説明文「くちばし」程度の簡単な文章を読み、教師の質問に答えることができる。○　繰り上がりや繰り下がりのある足し算や引き算の計算ができる。 |
| 生活・行動 | ○　偏食をなくし、一週間を通して元気に活動できる体力を身に付ける。 |
| 対人 | ○　誰に対しても、優しい言葉で話し掛けることができる。 |
| 前　　　期 |  | 短期目標 | 手立て・留意点 | 変容・評価 |
| 学習面 | 国語 | ・　言葉を一つのまとまりとして読み、内容のあらましが分かる。 | ・　単語や文節を丸で囲んだり、スラッシュで区切ったりして、文章を読みやすくする。 | ・　ゆっくりではあるが、言葉をまとまりとして文章を読めるようになってきた。 |
| 算数 | ・　１０の補数を利用した繰り上がりのある足し算や（十何）－（１位数）で、繰り下がりのある引き算の計算をすることができる。・　時計を見て、時刻を正しく読むことができる。 | ・　数図ブロック盤を用いることで、「10にする」数がいくつかを考えさせるようにする。引き算についても、数図ブロックを操作しながら計算方法を唱えさせるようにする。・　「分」の読み方が理解しやすい学習教材を作成する。また、日常生活の様々な場面で、時刻を読む習慣を付ける。 | ・　ブロックの操作には慣れてきたが、しばらく時間が経過すると、計算方法を忘れることがある。・　「３０分」や「何時半」は、読むことができるようになった。 |
| 生活・行動面 | ・　給食を残さず食べることができる。 | ・　野菜中心の献立は刻み食にし、食べやすくする。給食で苦手なものが食べられたら保護者に伝えて称賛してもらい、家庭でも食べてみようという意欲を高める。また、学級で行う体育にサーキットトレーニングを取り入れ、持久力を高める。 | ・　刻み食は、量を減らさずに完食できる日が増えてきた。サーキットトレーニングには、喜んで取り組んでいる。 |
| 対人関係面 | ・　優しい言葉で、相手に話したり、教えたりすることができる。 | ・　相手に対して優しい口調で話し掛けられるよう、学級全体でソーシャルスキルトレーニングを行ったり、必要に応じて場面指導をしたりする。また、本児童を含め、学級の児童が優しい言葉を使っていたらその都度称賛し、学級全体に紹介する。 | ・　強い口調で、相手に指示をすることがほとんどなくなり、誘うような口調で話し掛けることが多くなってきた。 |

平成２５年度

個別の指導計画【　小学校　】

（様式２－１）

個別の指導計画【　小学校　】

（様式２－２）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 後　　　期 |  | 短期目標 | 手立て・留意点 | 変容・評価 |
| 学習面 | 国語 | ・　簡単な文章を読み、内容のあらましを理解することができる。 | ・　話のまとまりごとに、文章を枠で囲み、場面をとらえやすくする。また、文章で表されている状況をジェスチャーや絵にし、目で見ることで文章の理解を促す。 |  |
| 算数 | ・　繰り上がりと繰り下がりのある足し算や引き算の手順を確実に身に付ける。・　時計を見て、時刻を正しく読むことができる。 | ・　数図ブロックを操作させると共に、足し算では補数を作る数を補数とその残りの数に、引き算では引かれる数を１０と一の位の数に分けて書かせるようにする。氏名　　宮崎　花子・　１２分割した５分単位の文字盤に、１分単位まで数字を表示する。 |  |
| 生活・行動面 | ・　決められた量の給食を残さず食べ、毎日元気に学校生活を送ることができる。 | ・　苦手意識がなくなってきた野菜はそのまま提供し、何でも食べられるようになったという自信をもたせる。また、学級で行うサーキットトレーニングは、少しずつ負荷を高める内容を取り入れ、さらに筋力や持久力を高められるようにする。 |  |
| 対人関係面 | ・　いつでも相手に優しく接し、より良い対人関係を築くことができる。 | ・　いつでも誰に対しても、相手のことを考えて優しく接することができるよう、学級全体でソーシャルスキルトレーニングを行う。また、友達が人に優しく親切にしている場面を見つけたら帰りの会で発表させ、学級全体で人に優しく接しようとする雰囲気を作る。 |  |
| 校内支援体制 | ・　校内委員会で、本児童の特性と配慮すべき点について全職員で共通理解を図り、声掛けや安全面に関する見守りについて確認する。・　交流学級担任や学年との連携を密に図り、本児童が交流及び共同学習に楽しく参加し、効果的に学習内容を身に付けることができるようにする。 |
| 本年度のまとめ | 関係機関との連携 |  |
| 学年目標に対する評価 |  |
| 次年度への引継ぎ事項及び課題 |  |